

話題提供

読書に困難を抱える方に対する 具体的な解決策・実践と展望



広島大学大学院人間社会科学研究科

教授 氏間和仁

図書館への期待！ 全ての人が読書できることを目指して

- 無差別・機会の均等・施設やサービスの利用の容易さ・社会への完全かつ効果的な参加および包容の原則（世界人権宣言等）
- 視覚障害者等の現状，著作権の重要性，情報技術の進展などを考慮した上での活用を認識した上で，社会における機会の均等を達成するに当たり，**著作物を視覚障害者等が利用しやすいものにしよう！**（マラケシュ条約，読書バリアフリー法）



地域・学校の**知と文化の拠点**である**図書館（室）**は，人間が人間らしく生きる上でのキースペースです。活字等への一般的な方式でのアクセスが困難な人々が人間らしく生きられるよう，制度が設計され，職員の意識が醸成され，**図書館がその使命を果たすことを目指してほしい！**

それを実現するやり方はたくさんある，その道具，方法及び適正な活用法がテクノロジーハブで共有されることを熱烈に期待している！

活字等への一般的な方式でのアクセスが困難状態とは

- 活字を見ることができない状態
- 活字が見えにくい状態
- 活字を音に変換できない，できにくい状態
- 漢字の音訓が分からない状態
- 紙の本を取り出したり，ページをめくれない状態

「活字」は，ここでは書籍等で用いられる規格的な文字のみをさすのではなく，拡大本で用いられる手書きの文字を含む，書籍等で用いられるインクで印刷された文字全般を指しています。

読書の困難と解決策

- 活字を見ることができない状態
- 活字が見えにくい状態
- 活字を音に変換できない，できにくい状態
- 漢字の音訓が分からない状態
- 紙の本を取り出したり，ページをめくれない状態



活字が見えにくい状態



島根県立図書館HPより

河内長野市HPより

活字を音に変換できない、できにくい状態



鶴ヶ島市立図書館 つながるアート展2021 特別イベント

見て・聞いて・読むが同時に行える本
**マルチメディア
デイジー体験会 2021**

守山図書館主催 読書バリアフリー企画

身近に読書が苦手な子ども
さまざまな障がいのために通常の本を
読むことが難しい人がいることを存じて
中でもディスレクシア（読み書き障がい）
実は10人に1人いるといわれていますが
なかなか知られていません。

マルチメディアデイジーは音声を読みながら
ハイライトされたテキストを読み、
同じ画面上で絵を見ることが出来るデジタル
ブックです。

今回は小学校1年生～4年生の教科書と
赤ちゃん～小学校高学年を対象とした書籍
収録されている「わいわい文庫」を体験で
読書に悩みを持つお子さんや保護者の方を
学校や地域の先生、関心のある一般の方も
ぜひご参加ください。

日時 12月18日(土) 15時～16時30分
場所 鶴ヶ島市立中央図書館
申込不要 時間内ならいつでも参加可
※新型コロナウイルス感染症の発生状況により中止となる場合がございます
お問い合わせ 鶴ヶ島市立中央図書館 障がいサービス課

鶴ヶ島市立図書館HPより

よか にがて だいいょうぶ
読み書きが苦手でも大丈夫！

はったつせい
**発達性ディスレクシアのわたしが
学校の先生になったわけ**

2024年10月6日(日)
13時00分～14時30分
会場 守山図書館 2階集会室

対象 読み書きが苦手な小中高校大学生とその保護者
と学校教育関係のかた 定員 30名

講師：神山忠さん 元岐阜特別支援学校 地域支援センター長 主幹教諭

受付開始：9月15日(日)
9時30分より 図書館カウンターもしくは 電話052-793-6288
FAX052-793-6289にて
または図書館HP予約システムから→
手話通訳ご希望の方は9月20日までお知らせください

守山図書館HPより



さらに、利用者に寄り添う

- 図書館内でできること
 - 全ての職員が支援技術を紹介する立場である認識を醸成する。
 - 特別な人ではなく、誰もが試せる雰囲気醸成する。
 - 図書館がそういう場であることを利用者に伝える。
- 自宅で借りた本を読むときにできること
 - スマートフォンで読書できることを支援する。
 - 専用機器が必要であれば図書館に相談できることを共有する。
- 考えておきたいこと（推進したいこと）
 - 本格的に使いたい人には、どの方法が適切か検討できるよう。
 - 外部専門機関、専門家を活用できる仕組みを整える。
 - テクノロジーハブの活用を積極的に整える！

展望：オレンジの箱



テクノロジーハブを，みかん箱に入れてお届けできるよう！

地域の知の拠点としての図書館

あなたが絶対に知るべき唯一のものとは、図書館の場所である。

アルベルト・アインシュタイン（1879－1955）



様々な立場の人にとっての知の拠点であってほしい。

終わりに

図書館が
様々な立場の人にとっての知の拠点であってほしい。

全ての人が、人間らしく生きていくために. . .

ご清聴ありがとうございました。



広島大学
氏間研究室

uji-office@hiroshima-u.ac.jp